

“あきたの食”の試食求評会を開催！



3月12日(金)、本会では、秋田市の新名物を目指して開発した商品の試食求評会をホテルメトロポリタン秋田で開催した。本求評会は、秋田市の補助を受けて実施している「あきたの食発見・発信支援事業」における取り組みとして実施したもので、秋田市民が名物と誇れる商品（スイーツ）を開発し、秋田市民だけでなく、全国に発信していくことによって秋田市の活性化を図ることを事業の目的としている。なお、今回披露された試作品は、今回の求評会の結果を踏まえ、来年度以降の商品化へ繋げていくことにしている。

今回の求評会で披露されたスイーツは全10品目で、平成21年度において秋田市内の大学生（秋田県立大学、秋田公立美術工芸短期大学、秋田栄養短期大学）による検討委員会から出された開発アイデアを秋田県菓子工業組合組合員等の協力により試作した。

求評は、①美味しく見えること、②味、③市場性の3項目について5段階評価方式で行い、出席者のうち検討委員や行政（秋田市商業観光課）、秋田県菓子工業組合など18名が実際に試食し求評を行った。

また、本求評会には、昨年度の同事業において開発された商品（「招福与次郎そばいなり」を始めとした全26品目）のうち、評価の高かった「酒粕生キャラメル」「秋田三城絵巻弁当」の改良商品も披露された。

今回、評価の高かった試作品は次のとおり。



米粉のスポンジの上に生もろこしとずんだ餡のムース等がのっている。もろこしとずんだの味が絶妙にマッチしている。



生地に小さくちぎられたきりたんぼが入った斬新なアイデアによるショートケーキ。ツブツブの食感も楽しい。



おこげやコハゼ（山野に自生するベリー）、寒天等をキューブ状にして盛り付けたデザート。おこげが視覚にも食感にもよいアクセントになっている。



上から梅酒、甘酒、卵酒の3層のゼリーとなっている。日本酒の風味が感じられ、秋田らしい大人の味に仕上がっている。

千秋公園で 試験販売を行います！

今回の試食求評会で披露された「秋田三城絵巻弁当」及び「酒粕生キャラメル」が、千秋公園の花見の時期に合わせ、試験販売されます。

さらに、昨年の試験販売で大反響を呼んだ「招福与次郎そばいなり」も販売予定となっています。

この機会に是非ご賞味下さい！

